

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	池田の魅力発見、発信フリーペーパー「いけだいろ事業」
事業主体 (連絡先)	信州池田活性化プロジェクト「Maple Tree」 Mail: ikeda.mapletree@gmail.com
事業区分	8, 1, 7
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	609,317円 (うち支援金: 487,000円)

事業内容

2018年度は、フリーペーパー『いけだいろ』を4度発行した。14号では池田町でマウンテンバイクを広めた方に取材。15号では池田町内に存在する双体道祖神のうち9割強をカラー写真で撮影する特集を掲載。歴史と文化を広い世代に伝えることに成功した。16号では、特集として池田のまちなかで様々な取り組みを近年始められた方を取材。多様な取り組みを町内外に発信することに成功した。また、事業最後の17号では近年注目を集めている外国人労働者の問題について町内の企業と労働者に取材。多文化共生の雰囲気を醸成することに成功した。

事業効果

1に関しては、いけだいろ16号での池田のまちなかで新たな取り組みを始めた方々への取材等によって地域の魅力を再発見し発信することができた。また2に関しては、15号での道祖神特集は、これまで年長者世代にしか文化や歴史が共有されてこなかったものを若者～子育て世代にも共有できたことで若者や子供が地域に愛着を持つきっかけを作ることができた。3に関しては、14号のランドルさん、15号の道祖神、16号のまちなかでの実家の茶の間や秋吉さんの取り組み、17号の外国人労働者記事によって、地元住民とよそ者の間の相互理解を促進することができた。

今後の取り組み

元気づくり支援金の利用期間である3年が過ぎ、2019年度からは完全に自立した運営へと移行していく。そのためこの3年間、元気づくり支援金を利用したことによって多くの方々に知ってもらい読んでもらうことができた。今後は、元気づくり支援金利用期間内に繋がった団体や行政等と引き続き連携して取り組みをできる限り継続していきたい。



【池田町で行われたマルシェで
いけだいろを配布している様子】

【目標・ねらい】

- 1, 地域の魅力を再発見し地域住民と広く共有する。
- 2, 若者や子供が地域に愛着を持つ
- 3, 地元住民と移住者の壁を無くす

※自己評価【B】

【理由】 例年通り、質の高い内容での4度の発行が可能であった。一方で補助金終了後の自立したマネタイズへの道筋を完全にすることができなかった。